



シートン動物記より ロボ

# 清水 勝 動物画展

2015年7月4日(土)~8月30日(日)

同時開催：第15回私の愛する一点展

梅野記念絵画館

〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1 TEL: 0268-61-6161

## ■施設情報、開館案内

東御市梅野記念絵画館 <http://www.umenokinen.com/>

〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1

TEL 0268-61-6161 FAX 0268-61-6162

E-mail: umenokinen@ueda.ne.jp

開館時間 午前9時~午後5時(4時半までにご入場下さい)

入館料 800円(高校生以上)団体割700円(15名)

身障者割引、学校利用減免、減額制度有り。

休館日 6月1、8、15、22日 7月6、13、21、27日

## ■アクセス

車 練馬ICから2.5時間

◆関東、北陸方面から  
上信越道東部湯の丸インター  
から15分

◆中部、関西方面から  
長野道岡谷インターから新和  
田トンネル、  
R142号経由で約1時間

## ■2015年イベントスケジュール

9/5 石彫群鑑賞ツアーと邦楽演奏会

9/27 石彫群鑑賞ツアーとクラシックコンサート

10/18 石彫群鑑賞ツアーと彫刻シンポジウム

9/5~10/25 彫刻を囲んでおしゃべりしよう

11/1 山内龍雄展オープニング

12/9 親子で描く年賀状

鉄道 東京から最速2時間

しなの鉄道「田中」下車タク  
シー15分

◆関東、北陸方面から  
北陸新幹線「上田」で、しなの鉄  
道乗換、田中下車。

◆中部、関西方面から  
特急しなの号利用「篠ノ井」で、  
しなの鉄道乗換



クロサイ 水彩、紙

会期中はお子様遊ぶことの出来るダイヤブロックを用意しております。遊戯スペースもありますので、ぜひご利用下さい。(8月6日~10日を除く)

主催：梅野記念絵画館 協力：カワダ工業株式会社

## 迫真の筆力！ 清水勝の動物画展

東御市梅野記念絵画館

館長 佐藤 修

もう 20 年以上前のことになろうか、孤島で恐竜が蘇ったという筋書きの映画があった。恐竜ときくと血が騒ぐ、そういう世代であるが、最新の映像技術を駆使したであろうその映画は、ハリウッド製の期待はずれのパニック劇に過ぎなかった。

昭和 30 年頃、手にする子供雑誌は前半分が読み物であり、後半分は漫画という構成であった。読み物は、世界七不思議であり、少年探偵団であり、百獣の王ライオンであり、ターザンであり、恐竜の世界であった。そしてその挿画は圧倒的な迫力でもって少年たちを興奮させた。ライオン、虎、象、マンモス、恐竜……写真もない、映像もない、まして田舎のこと、動物園に出かけるなど思いもしない時代である。

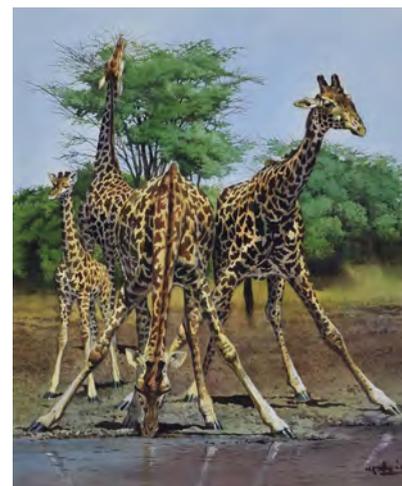
画家・清水勝さんはまさにその頃、少年雑誌や図巻にリアリティー溢れる動物や恐竜の絵を描き続けた。獣の息が吹きかかるほどの臨場感で迫るその絵は、当時の少年たちの血をたぎらせたのである。図巻だけではない。戸川幸夫などの動物物語の挿絵画家としても欠かせない存在であった。

このたび、画家ご自身から原画をお借りすることが出来た。“あの頃”の信州の子供たちに見せてやりたい。ひととき“あの頃”に戻ってみたい。もちろんゲームで育った今の子どもたちにもこの迫真の筆力を見ていただきたい。これこそが「絵の力」である。

清水先生は 1919 年生まれ。40 歳代後半に出版の世界から離れ、画家として本格的な絵画制作の道に入られた。抽象画家として現在なお現役で活躍されている。



若き王者の群れ 水彩、紙



キリン 水彩、紙



イルカ 水彩、紙



ナイルワニ 水彩、紙